



## 第27回 越後加茂川夏祭り

主な内容

- 若林麻衣子選手が全英女子に出場 …… ②
- 第27回 越後加茂川夏祭り …… ③⑤
- カメラスケッチ …… ⑥
- 歯の健康「むし歯は予防できたけど」… ⑥
- 第55回 総体の結果 …… ⑦
- 加茂の風土記「北潟の天満宮」 …… ⑧

加茂病院は加茂市の宝 加茂病院を盛り立てましょう

# 祝 若林舞衣子選手 全英リコー女子オープン御出場おめでとうございます



第14回ヨネックスレディスでの若林舞衣子選手  
(写真提供 ヨネックス株式会社)

加茂市出身のプロゴルファー・若林舞衣子選手が世界最高峰の大会である全英リコーオープン（9月13日～16日・英国・ロイヤル・リバプールGC）への出場が決まりました。

この大会に出場することは、並大抵のことではなく、加茂市の歴史に燦然と輝く快挙であります。

今回開催される会場はイングランドで二番目に古い歴史あるゴルフコースです。

この大会に出場する日本人選手は、現在、アメリカで活躍の宮里藍選手、宮里美香選手、上田桃子選手と国内大会で活躍の若林舞衣子選手と大江香織選手、木戸愛選手、一ノ瀬優希選手、原江里菜選手の八名です。

世界のトッププロの中でプレーする若林舞衣子選手の御活躍をお祈りしてやみません。

# 第27回越後加茂川夏祭り



大盆踊り大会・2尺玉花火3連発  
2km大ナイアガラ花火



八月十四日、第二十七回越後加茂川夏祭りが開催され、会場の河川敷には四万二千人の皆さんがおいでになりました。今回は、十四年ぶりに加茂川夕日コンサートが行われ、歌手の沢田知可子さんの歌声が会場内に響き渡りました。

日中のイベントは、縁日ひろばとウキウキ桃釣り大会から始まりました。毎年子どもたちに人気の桃釣りには、順番を待つ長い行列ができるほどでした。今年は、

川の流れが少し速く、釣り上げるのに少し苦戦したようです。縁日ひろばは、ヨーヨー釣り、スパーボールすくい、わなげ、ボールなげ、駄菓子屋台がひらかれ、これにも大勢の子どもたちが並んでいました。

加茂川ダンス甲子園には、キッズ部門に十チーム、一般部門に二十チームが出場し、オリジナルのダンスパフォーマンスを披露しました。キッズ部門では、プロダン





大輪の二尺玉

サーから審査をしていただき、チームとしてのリズムやパフォーマンスなどから上位三チームが表彰されました。

よさこいソーランと江戸みこし競演は、左岸ステージで、市内外の四つのよさこい団体と江戸みこしがいっしょに演舞し、会場を盛り上げました。

このあと、夕日の色に染まった加茂川に、市内全ての保育園、幼稚園の園児たちがつくった灯ろうが栄橋下の仮橋から流され、自分の作った灯ろうを追いかける子どもたちでにぎわいました。

夕空が広がる中で、十四年ぶりの夕日コンサートには、歌手の沢田知可子さんの歌を聞くため大勢が集まり、数々の名曲を楽しみました。

コンサートが終わると加茂川を囲んで大盆踊り大会が始まりました。加茂松坂の唄にあわせて踊る姿に飛び入り人たちも加わり、川面に映る人影が増えていきました。





約一時間の火盆踊り大会が終  
わると、噴水花火を合図に大花火  
大会がスタート。兩岸の河川敷や  
道路には、大勢の人たちが集まり、  
若宮公園から大輪の花火が打ち  
上げられました。午後八時三分  
から九時までの三十分間に息つ  
く間もなく約千発が打ち上げら  
れ、夏の夜空を飾りました。大花  
火大会の最後は、二尺玉の三連発  
と大ナイアガラ花火です。暑い夜  
空に大きく広がる大輪の花火と  
昭和橋からJR鉄橋まで約二キ  
ロメートルもつづく大ナイアガ  
ラ花火に、会場を埋め尽くす人た  
ちから大きな歓声が聞かれまし  
た。

加茂の夏の風物詩となった越  
後加茂川夏祭りの楽しい一日を  
過ごすことができました。



**ひまわり花壇**  
 国道二九〇号線の加茂市と三条市の境界地点には、約二十年前から西山の高橋栄一さんがヒマワリなどを育てており、加茂市に來られる皆さんを出迎えてくれます。



第30回舞踊まつり（8月26日）

日本舞踊では祝いの席での舞われるものや昔の物語を舞踊化したものなど演じられました。日本舞踊、民踊の両部門には小・中学生の出演もあり、伝統文化を受け継ぐ子どもたちの姿を見ることができました。

## 第9回加茂市長杯学童野球大会

八月二十五・二十六日に七谷・川西野球場で開催され、加茂市、新潟市、長岡市、見附市、五泉市、湯沢町から十二チームが出場しました。猛暑の中での試合でしたが、練習の成果と、スタンドからの応援でいつも以上のプレーができました。結果は次のとおりです。

- 優勝 五泉フェニックス
- 準優勝 下条ファイターズ
- 三位 加茂レッドアローズ

南イーグルス



二歳の頃から予防に熱心なお母さんに連れられて診療室に通ってきたA君。むし歯が一本もなく、かびかの白い歯でした。ところが、小学校に通うようになって暫くしてから久しぶりに診療室にやってきた時には、口の中がなんだか汚れていました。歯の表面を掃除してみると、奥歯の生えてきたばかりの永久歯に初期の虫歯が何カ所もできていました。

学校に上がる前はお母さんが毎日一生懸命仕上げ磨きをしていました。保育園でも昼食の後には歯磨きをしたし、おやつを食べたらうがいをしていました。今思えばどれも自分から進んでしていたのではなく、言われたらすることや綺麗にしようという意識が、歯磨きをしようという習慣は身につけていたのですが、



自分の口を清潔にして健康でいようとする気持ちの芽生えが足りなかったのかもしれない。

基本的な生活習慣は、自らすすんでやる気持ちを伴った習慣でなければ生涯にわたって、よりよい生活を送るための力にならないでしょう。むし歯の予防という視点だけでなく、歯みがき習慣を通じて「自分で健康を維持する力」を子供たちが身につけてもらいたいものです。

（加茂市歯科医師会）

## むし歯は予防できただけ

# 第55回総体 結果



## 登山

期 日 七月二十八・二十九日

会 場 福島県会津駒ヶ岳

※登山は、一般参加者・山岳会指導者など二十四名で行われました。



## 硬式テニス(ダブルス)

期 日 七月二十九日

会 場 庭球場(駒岡)

※各クラスの男子・女子の部ともAクラスを含めて実施しました。

【Aクラス】▼男子①馬場靖幸・鍛冶晋(KIT) ②小林勇・高橋富雄(グレイト) ③中島昭・長谷川弘良(加茂ローン) ▼女子①志田美津子(グレイト)・中山佐和子(シテイサークル) ②林住代・佐藤桂子(グレイト) ③佐久美みゆき・大桃さおり(加茂テニス)



## 水泳

期 日 八月五日

会 場 市民プール

【小学生男子】▼50m自由形①大野一真(加茂西小) 29秒30大会新②鈴木雅也(加茂AC) 29秒98大会新③山田幹太(石川小) ▼50m平泳ぎ①



星野雅斗(加茂AC) 42秒05 ②吉田稜太(加茂AC) ③小林優聖(加茂AC) ▼50m背泳ぎ①浅野真希(加茂AC) 37秒76 ②山田幹太③塩野敦也(加茂西小) ▼50mバタフライ①大野一真30秒97大会新②浅野真希33秒53大会新③有本翔真(加茂AC) ▼100m自由形①鈴木雅也1分4秒57大会新▼100m平泳ぎ①星野雅斗1分34秒53 ②野村晃生(石川小) ▼100mバタフライ①有本翔真1分34秒11 ▼200mリレー①加茂AC・a 2分11秒50大会新②加茂西小③加茂AC・b

【小学生女子】▼50m自由形①土橋輝(加茂AC) 32秒85 ②田口令亜(加茂AC) ③安中莉椰(石川小) ▼50m平泳ぎ①皆川いろは(石川小) 54秒19 ②野村菜央(石川小) ③高橋真莉亜(加茂AC) ▼50m背泳ぎ①安

中莉椰54秒42 ②高橋真莉亜▼50mバタフライ①土橋輝38秒78 ②田口令亜 ③関理沙(石川小) ▼100m自由形①小林葵(加茂AC) 1分5秒44大会新▼100m平泳ぎ①皆川いろは2分0秒47 ▼200m個人メドレー①小林葵2分48秒79 ▼200mリレー①加茂AC 2分43秒05

【中学生男子】▼100m自由形①田中大海(加茂AC) 1分8秒20 ▼200m自由形①田中大海2分26秒49

【中学生女子】▼50m自由形①野村春乃(加茂AC) 28秒28大会新②小林諒(加茂AC) ③小嶋のどか(加茂AC) ▼50m平泳ぎ①土橋聖(加茂AC) 36秒45大会新▼50m背泳ぎ①田口由亜(加茂AC) 32秒66 ②小林諒③梅田月詩(加茂AC) ▼50mバタフライ①野村春乃31秒10 ▼100m自由形①小嶋のどか1分10秒79 ▼100m平泳ぎ①土橋聖1分21秒70大会新▼100m背泳ぎ①田口由亜1分10秒90大会新▼100mバタフライ①中林祥子(加茂AC) 1分9秒64大会新▼200m自由形①中林祥子2分18秒96大会新▼400mリレー①加茂AC 4分19秒72

【高校一般男子】▼50m自由形①青野剛太(DASH加茂) 26秒59 ②渡邊健太(DASH加茂) ▼50m平泳

ぎ①坂内貴洋(DASH加茂) 33秒04 ②青野剛太③渡邊健太▼50mバタフライ①坂内貴洋29秒03

【高校一般女子】▼50mバタフライ①今井翼(加茂AC) 40秒53

【壮年】▼50m自由形①小林誠(加茂AC) 39秒05 ▼女子50m平泳ぎ①皆川敬子1分5秒63 ▼男子50m背泳ぎ①小林誠50秒97 ▼男子50mバタフライ①浅野真一(DASH加茂) 32秒99 ▼男子200m自由形①浅野真一2分29秒74

【最優秀選手賞】

▼小学男子 大野一真(加茂西小)  
▼小学女子 小林葵(加茂AC)  
▼中学男子 田中大海(加茂AC)  
▼中学女子 野村春乃(加茂AC)

期 日 八月五・十二・十九日

会 場 七谷野球場

【一般の部】

優勝 YAWATA  
準優勝 レイブンクロウBC

【壮年の部】

優勝 後須田  
準優勝 A O I

【中学生の部】

優勝 葵中学校  
準優勝 須田中学校

# 北潟の天満宮 村の鎮守の姿

江戸時代の村々には神社が数社祀られていた。村人みんなであらゆる軒で、また個人で、祀り始めたのも村や地域が始まってからなどさまざまであった。

加茂市の西部、北潟は戦国時代の永禄七年（一五六四）に、小林

氏をはじめとした五十嵐・高橋・勝本・織原など八氏がこの地に入り拓かれたという。村のほぼ中央部に祀られる天満宮は、元禄十二年（一六九九）の書上げに、創立年代不詳とあるが村が始まってから祀られてきたものであろう。

社殿を持つ神社が珍しかった延宝四年（一六七八）の村の書上げに、創立年代不詳としながらも、すでに社殿と境内に池があつて、村人の崇敬を集めていたと記録されている。続いて元禄十五年（一七〇二）に社殿の再建が四人の大功によりなされ、鶴森村の田代肥後が宮司として祭祀していたと、村名主であつた小林家の記録に見える。



堂々とした現在の北潟・天満宮の社殿。参道右手に池がある。一番目と二番目の鳥居の間の水田は名主小林家の屋敷跡。

神社のご神体は人知れず本殿の奥深く祀られて、人々にはめったにない遷宮などでも、幕を廻らされ目に触れられなかったものである。しかし、小林家記録に神体のことが記載されている。これによれば村の与作という者が寄進をして、丈が二尺四寸余(約四十二cm)、直垂(ひたたれ)木姿の像で、名主の座敷に仮安置の後、冬の十一月十一日に本殿に遷宮したという。天満宮であるから神体は菅原道真の直垂姿を模したものであつたらうか。

(関 正平)

## 人口のうごき

8月1日現在  
世帯 10,247 (+20)  
人口 30,146 (-41)  
男 14,533 (-24)  
女 15,613 (-17)  
( )内は前月比  
(7月異動分)  
出生 16 (男 7 女 9)  
死亡 31 (男18 女13)  
転出 44 転入 18